

# UNION NEWS

<https://www.jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

 E-mail [sodan@jrtu.or.jp](mailto:sodan@jrtu.or.jp)  
 東京本部 〒108-0075 東京都港区港南1-1-95 (03)6718-1251  
 JR東海品川ビル9階  
 名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

発行人 尾内 裕昭 / 編集人 鈴木 賢二

## 第37回定期中央委員会を開催！

当面の活動方針を  
満場一致で決定！

2月8日、ホテルアソシア豊橋にて、第37回定期中央委員会を開催した。先の定期大会で確認したスローガンに加え、《安全・安定輸送の確立、2023春季生活闘争勝利、さらなる組織強化・拡大、第20回統一地方選挙勝利》として掲げたサブスローガンと、当面の活動方針を満場一致で決定した。

委員会では、2023春季生活闘争の取り組みや「UNION FUTURE ↓2027」に基づく、詳細な当面の活動方針等が提起され、17名の中央委員、特別中央委員から力強い補強意見が示され、最後に、尾内中央執行委員長による団結ガンパローにより締めくくられた。

団結ガンパローで一致団結！



尾内中央執行委員長あいさつ(要旨)



尾内中央執行委員長

私たちが目指す指針、中期目標「UNION FUTURE ↓2027」を基軸に、将来を見据えながら、あるべき姿の実現に取り組んでいく決意は揺らぐものではない。変革の激しい時代だからこそ、揺れ動く組合員の想いや状況に寄り添い、応え、行動していかなければならない。以上を踏まえ、下期の活動ポイント提起する。

「安全の確立」について、残念ながら、上期において墜落死亡災害が発生した。現在、このような事象が2度と発生しないよう原因究明、再発防止を強く会社に求めている。また、引き続き、全ての職場においてアサーション(確認会話)の積極的な導入を継続し、「アサーションのあたりまえ化」を推進する。自然な声掛けによる権威勾配の適正化を促すとともに、さらなるコミュニケーションの充実を図っていく。

「2023春闘」について、

コロナ禍における苦しい経営状況を乗り越え、ウイズコロナ期においてもJR東海ユニオン組合員が丸となった社業を支えてきたことにより、経営が順調に回復して来たことから、非常にターンポイントとなる交渉だと認識している。組合員の日々の生活は、急激な物価高や商品の相次ぐ価格転嫁に加え、エネルギー価格高騰による負担増などが生じている。今こそベースアップの実現により、組合員の生活改善を図ることに加え採用競争力の強化に繋げていくことが重要である。期末手当については「安定支給」を最重要視するスタンスをあらためて強く掲げ、5度の交渉に亘った「コロナ禍における安定支給ベースを割り込んだ状況からの脱却」を図らなければならない。

「ハートフルカンパニービジョン」実現に向けた取り組みについて、各級機関並びに組合員と緊密に連携した上で進むべき方向を見定めるとともに、これまでの労使交渉や政治政策活動等において得られた知見を広く共有した上で各種労使協議を行い、その経過について再び組織内での議論を行うという、課題の解決に向けた好循環を作り、「ハートフルカンパニービジョン ↓2027」の実現に向け、引き続き、不断に取り組んでいく。

最後に「政治活動」について、本年4月に予定されている第20回統一地方選挙においては、私たちの為の真に活動できる候補者を地方議会に送り出さなければならない。

JR東海ユニオンが推薦する全ての候補者の必勝に向け、関係する地方本部・総支部と連携を図り、組織一丸となって取り組んでいく。

今後も「ONEチーム」となり、さらに組合員一人ひとりが「OURチーム」の精神で、運動により一層高い意識で参画し、JR東海ユニオンを飛躍させよう。